

# 移い動どう市し長ちやう室しつ

通算83回目となる移動市長室を、9月25日(火)に開催しました。筑紫野南中学校生徒会と懇談を行い、9人の出席がありました。



筑紫野南中学校の生徒は701人、校訓「自学 友愛 健康」のもと、生徒会を中心に「自主運営」ができる体育会や文化祭などの学校行事に取り組み、「市民性」育成「プロジェクト」など地域でのボランティア活動やふれあいを進めています。「優く互いに思いやり、笑顔が

つながる関係を築こう」を第26期生徒会スローガンとして、執行部以下、各専門委員会、部活動など日々の活動を行っています。

懇談は、生徒会からの活動報告では、学校紹介をはじめ、今期スローガンの

## 筑紫野南中学校生徒会

優ゆう互たがに思いやり、笑顔がえがつながる関係を築きずこう

設定理由、主な生徒会活動、ボランティア活動についての話があり、それらを受けての意見交換を行いました。その後、筑紫野市からの説明および意見交換を行いました。

### たくさんの笑顔を目指して

今期のスローガンは、相手に対する優しさ、思いやりを全員が持ち、それを行動に移すことで相手に対する笑顔が生まれ、互いの関係が深まってほしい。さらに相手を思いやることで、学校生活が楽しくなり、笑顔が広がっていくような充実した生活が送れるようになることを考え、設定。これを軸としてさまざまな活動を行っています。

### 今年度、取り組んでいること

具体的には、今年度から「思いやり箱」を設置、友達の思いやりのある行動を投稿してもらい、放送で全校生徒に向け紹介を行っていること、これにより思いやりのある行動が広がっていると実感できていること、「膝つき黙々清掃」として全員で静かな環境の中、いつも使っている場所に感謝の気持ち

で掃除をしていること、「給食での残食0」を目指し、点検表のチェックなどによって意識が向上し、残食を減らすことができたことが報告されました。相手に誠意や思いやりの心を伝えるための「立ち止まりあいさつ」は、「自分から、大きな声で、かかとをつけて、あいさつの後に礼」というポイントをあげており、これができたかを点検し合い、できたら木に花を貼り付けるという取り組み「あいさつりー」を実施、日に花が増えていくことで思いやりの心も同時に増えていくように感じたという報告がありました。

### できることを考えながら

生徒会活動に対してのアンケート結果では、まだまだ改善の余地があったことから、執行部がさらに呼びかけを行ったり、一緒に活動できるようなイベントや環境づくりに励みたいとの話、平成29年7月九州北部豪雨で被災した朝倉市への支援として募金活動をしたことや昨年発足した五中連合体でのボランティアの取り組みについても報告がありました。



### 思いを交流する時間に

意見交換では、生徒会活動に関わってよかったことや自分自身が成長したと思えることを尋ねると、「自分のことより周りのことを気にするようになった」、学校生活がより楽しくなった」、「周りの人となつながら大切さを学んだ」、「貴重な体験をさせてもらい、やりがいを感じている」などの発言がありました。あいさつりーは、あいさつを主体的にしたくなるように、また、頑張ったこ

とを一つの作品にしたいと発案したこと、思いやり箱やあいさつなどの取り組みによって温かい関係ができ、笑顔がなくなり、誰もが過ごしやすすい学校になって、いじめや不登校がなくなっていくと考えていること、体育会などの行事を通して、先輩は後輩に指導をし、後輩は先輩の姿を見て自分たちでやろうとする意識を持つことによって自主運営ができていくなど、たくさん思いを聞くことができました。

### 市政への関心を深めるために

市からは、市役所の具体的な仕事内容、本年度予算、第五次総合計画などを説明し、質疑応答を行いました。計画や制度をつくっていくときに大切にしていることを問われ、災害が多発する中、市民の安全・安心が守れるような政策が今は大事だと考えていると回答しました。中学生に求めるものや私たちに期待することは？という質問に対し、市長からは、よく勉強し、豊かな心と頑強な体をつくる「知育・徳育・体育」を大切にしており、筑南中で学んだこと、そして、先生方や地域の皆さん、いろいろな人たちに支えられ大きくなってきたことを忘れず、恩返し、

### 参加者からの感想

- ・ 市長とお話しして、今までの生徒会活動のよさを再確認でき、これからつなげていくヒントをたくさんもらったので、今後、そのアドバイスをもとに頑張っていきたいと思います。
- ・ 市役所のいろんな取り組みで、安心して暮らせているということが分かりました。すごく面白くて、参加してよかったです。

感謝の気持ちを持ち続けて成長してほしいと話がありました。懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

### 藤田市長の一言

生徒会のスローガン「優」を達成していくため自分たちの活動をやり遂げようとする姿、そして、優しさと思いやりからたくさんの笑顔が広がる中で学校生活をいきいきと過ごしている姿、自主運営ができつつある姿を感じることで、大変うれしく思いました。9人の皆さんがそれぞれに生徒会活動を通して感じた貴重な意見をお聞きしながら、和やかで楽しく意見交換ができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。本日はどうもありがとうございます。

